



台湾 中臺科技大學(CTUST)の 学生とオンライン文化交流

～ 2020年11月18日、20日、25日、27日 ～

日本医療科学大学（NIMS）とCTUSTは2015年に学術協定を締結し、両大学間で毎年、学生の派遣と受け入れを交互に行うことを決定しました。昨年度は、CTUSTより交換留学生6名と引率教員1名が、NIMSで10日間の留学プログラムに参加しました。

2020年度は、2週間の日程でNIMSの学生が、CTUSTに派遣される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策措置により、渡航が困難となり、オンライン交流会を開催することになりました。

NIMSからは4日間合計27名の学生と学長を含む9名の教職員が、CTUSTからは学生24名と6名の教職員が参加し、流行している音楽やアニメ、おすすめの観光スポット、祭り、食べ物などを紹介し合いました。



NIMSの学生は各々パワーポイントを作成し、英語での発表に挑戦しました。学生達は食べ物に特に興味がある様子で、一人ずつお互いの国の好きな食べ物を順番に挙げていく場面もあり、大いに盛り上がりました。



また、日本語で発表したCTUSTの学生や、中国語で発表したNIMSの学生もいて、お互いに感心しきりな交流会となりました。



両国のコロナ情勢についても情報交換をし、台湾では、現在地周辺の店のマスク在庫が分かるアプリが2020年上半旬に導入され、マスク争奪戦も短期で収まったようです。一方、日本では感染者数も増えてきているため、CTUSTの皆様は「NIMSの学生や教職員は安全なのか？」と大層心配してくださいました。

4日間、和やかな雰囲気での会が進み、参加学生からは今後の交換留学に興味があったとの声が多くあがりました。両学とも、コロナウイルス感染症収束の暁には、交換留学の早期再開を望んでいることを改めて確認し、閉会となりました。

広い視野と異文化理解のある学生を育てるため、今後も国際交流を積極的に展開してまいります。

